

対策に向けての知識

○ 注意報と警報

暴風警報	暴風によって、重大な災害の起こるおそれのある旨を警告して行う予報で、陸上で平均風速が概ね20m/sを超える場合
強風注意報	強風によって、災害が起こるおそれがある場合にその旨を注意して行う予報で、陸上で平均風速が概ね12m/sを超える場合
大雨警報	大雨によって、重大な災害の起こるおそれのある旨を警告して行う予報で、地域によって異なる。
大雨注意報	大雨によって、災害が起こるおそれのある場合にその旨を注意して行う予報で、地域によって異なる。

○ 台風の大きさ

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

○ 台風の強さ

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

対策に向けての知識(雨)

予報用語	1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	人への影響	木造住宅内	屋外	車両	災害発生状況
やや強い雨	10以上20未満	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水溜りができる		この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
強い雨	20以上30未満	どしゃ降り	傘をさしていても濡れる			ワイパーを速くしても見づらい	側溝や下水、小さな川が溢れ、小規模の崖崩れが始まる
激しい雨	30以上50未満	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要都市では下水管から雨水が溢れる
非常に激しい雨	50以上80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる	寝ている人の半数ぐらいが雨に気がつく	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があるマンホールから水が噴出する土石流が起こりやすく多くの災害が発生
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる					雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要

対策に向けての知識(風)

予報用語	平均風速(m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木	車両	建造物			
やや強い風	10以上15未満	～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる 傘がさせない	樹木全体が揺れ始める 電線が揺れ始める	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	樋が揺れ始める			
強い風	15以上20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る 高所での作業は極めて危険	電線が鳴り始める 看板やトタン板が外れ始める	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある 雨戸やシャッターが揺れる			
非常に強い風	20以上25未満	～90km		高速道路の自動車	何かにつかまっていないと立ってられない 飛来物によって負傷するおそれがある	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める 看板が落下・飛散する	通常の速度で運転するのが困難になる	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する ビニールハウスのフィルムが広範囲に破れる		
	25以上30未満	～110km	道路標識が傾く		特急電車	屋外での行動は極めて危険 多くの樹木が倒れる 電柱や街灯で倒れるものがある ブロック壁で倒壊するものがある	走行中のトラックが横転する	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる 養生の不十分な仮設足場が崩落する		
猛烈な風	30以上35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険				多くの樹木が倒れる	走行中のトラックが横転する	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある
	35以上40未満	～140km								住家で倒壊するものがある 鉄骨構造物で変形するものがある
猛烈な風	40以上	140km～	特急電車	屋外での行動は極めて危険	多くの樹木が倒れる 電柱や街灯で倒れるものがある ブロック壁で倒壊するものがある	走行中のトラックが横転する	住家で倒壊するものがある 鉄骨構造物で変形するものがある			